

令和4年12月15日

議会議長 加藤 常夫 様

文教厚生委員会

委員長 野田 哲郎

### 閉会中における所管事務調査についての報告

函南町議会会議規則第77条の規定により、次のとおり報告いたします。

記

- 1 開催日時 令和4年11月2日（水）午前9時00分
- 2 委員の出席状況 委員全員出席 議長出席
- 3 調査事項

#### (1) ヤングケアラーの状況について

令和3年度に県が実施した「静岡県ヤングケアラー実態調査」の調査結果と併せて、町内のヤングケアラーの状況について確認を行った。現在、法令上の定義がない中で、県の実態調査結果では、町内の小学5・6年生及び中学生において83人が家族のケアをしているヤングケアラーに該当するという結果になっている。

教育委員会では、アンケートや聞き取り等を実施し支援の必要な児童生徒の把握に努めており、福祉部門や教育部門と地域の関係機関が連携し、支援を行う体制整備が進められている。

引き続き整備を進めるとともに、研修等を行いヤングケアラーへ対応する関係機関の人材育成にも努められたい。

## (2) 湯～トピアかんなみの現状について（現地視察含む）

湯～トピアかんなみでは、平成 22 年からの指定管理者制度移行により、民間のノウハウを取り入れた運営がされており、キャンペーンや各種イベント等の効果もあり安定的な集客に努められている。コロナ禍においては来館者が安心して利用できる環境整備を図り、一時は落ち込んだ入館者数も、徐々に回復傾向にある。

オープンから 20 周年を迎えるなかで、修繕料や工事費については毎年多額の計上がされており、施設の老朽化も見据えた計画的な運営が求められる。中長期的な計画を立て、安定的な施設の維持管理に努められたい。

現地視察では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した改修箇所等について確認を行った。

## (3) 町内中学校の外国語指導助手（ALT）の効果的な活用に向けて（現地視察含む）

町内中学校では現在、1 校に 1 人の ALT が配置されており、英語教育の一層の充実を目指している。各生徒の英語に対する興味・関心や習熟の差を踏まえた指導の工夫が求められるなかで、ALT の活用は大きなポイントとなるため、GIGA スクール構想と併せ、ICT を活用したより効果的な英語学習について検討が進められている。

現地視察では、ALT が参加する授業において、タブレット端末を活用しながら生徒が英語を学ぶ様子を確認した。